
偽兄妹 <ギキヨウダイ>

焰 蒂人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偽兄妹くギキョウダイイ>

【NZコード】

N13700

【作者名】

焰
帶人

【あらすじ】

彼と彼女は血が繋がっていない。しかし彼らは本物の兄妹のように振舞っている。

(前書き)

この題名を見て、誰かのパクリじゃ……と想つたあなた。

そんなあなたには読む資格があります

さあ、あなたはコレを読んで何を思つ?

嫉妬? 怒り? 嘲り? 同情? はたまた親近感?

田村冬稀様からはじつかりと許可は戴いておりまます

さてと、突然だが彼には妹がいる

彼には実の妹もいるが今回はその子とは違つ妹との話

彼が普通に暮らしていたら会つことが無かつた箸の妹

義理の妹ならぬ偽者の妹

血の繋がりではなく纏う雰囲気の繋がり

妹よりも仲が良く趣味思考が似る

だからこそ、普通の兄

のこのように解つてしまつ
だからこそ、相手の感情が自分

傍から見たらただの傷の舐めあい

本人達にとつては興味を持ったから近づいただけ

どこに惹かれたのかも興味を持ったのかも解らない

ただ、言えることは偽者でも彼らは本当の兄妹のように存在していると言つ事だ

又、彼に「傍から見たら傷の舐めあいだぜ?」

と、言つと彼は必ずこう答えるだらつ

「俺から見ればあんた等が他人と付き合つてゐるのも傷の舐めあいに見えるぜ?」

と。そんな彼から聞いた彼自身とその偽妹^{ヤツメイ}の話。

彼は小さい頃から礼儀作法を教えられていた為、素が敬語なので堅い人に見られる

そんな彼に何気なく掛けたのである「言葉」「本、好き?」に対して
「まあ・・・はい」

彼曰く、自分以外にも人がいてほとんどが「まあイケメンじゃね?」
の部類に入るのに・・・

何故に自分に来たし・・?

という気持ちを込めて返したらしい

それと同時に『ほう・・・こんな変人に声を掛けるとは醉狂な奴だ』
とも感じたらしい

『その醉狂な奴を妹にしている自分も醉狂な奴か　かはは』と彼はあとで語る

そしてなんやかんやで早半年が過ぎ何故か　偽兄妹　に

〈偽物で贋物だけど兄妹〉

普通の兄妹よりも兄妹らしく、恋人のように見えるけど明確な線引きがしてある

〈繫がりは血ではなく纏つている雰囲気〉

〈繫がりは血ではなく心〉

そして彼はこう最後に締めくくった

「なに、家族や兄弟、姉妹は血の繫がりだけで出来るものじゃない

その証拠に義理の家族などが存在しているじゃないか？」

ならば偽物だってあつてもいいだろ？

こんな兄を慕ってくれているんだから答えないとな・・・

ま、これからもよろしくってこいつたな

あーそりそり、これはアイツには内緒な?

俺の気持ちを聞いたらぜってーに、はしゃぐからアイツ・・・

まあ、それを見るのも一興か・・・?

とつあえず黙つとけよ?いいな?

最後の部分で折角のいい話が台無しである

ただ彼らしいといえば彼らしい終わり方だ。

(後書き)

田村冬稀さんの偽兄妹もあわせて読んでいただくと、とても理解しやすくなると思われます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1370o/>

偽兄妹 <ギキョウダイ>

2010年10月18日12時07分発行